

【記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“短”】

1. “短”が重要なキーワード

記述式試験は、書いたものが評価されるという内容の試験です。このような特徴を持った記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“短”です。つまり、「短く考える」と「短い文を書く」です。

「1分で理解できる解答」の書き方^{注1)}に基づき解答を書く場合でのこのキーワード(短)について解説します。「1分で理解できる解答」とは、「解答の要点」と「解答の要点に関する説明(=要点の説明)」が書いてある解答のことです。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『「1分で理解できる解答」の書き方の概要』の資料を参照のこと

2. 短く考える

「短く考える」とは「解答の要点を短く考えること」です。「解答の糸口を見つける^{注2)}」で解説したように「1分で理解できる解答」の考え方で解答を書く場合、解答の要点とは「解答の糸口」のことです。解答の糸口を短く考えることで頭の中でこれが明確になります。例えば、以下のⅠとⅡを比べてください。

Ⅰ：この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できることから課題は、高齢者の避難の方法である。

Ⅱ：課題は、高齢者の避難の方法である。この地域は一人暮らしの高齢者が多く、災害時、逃げ遅れて亡くなる高齢者が多いと判断できるからである。

Ⅱのように、「課題は、高齢者の避難の方法である」と課題の糸口を短く考えることでこれが頭の中で明確になります。課題の糸口が明確になればこの説明も考えやすくなります。

Ⅰのように課題の糸口を長く考えるとこれが頭の中で不明確になります。課題の糸口が不明確だとこの説明もすぐに出てきません。

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「解答の糸口を見つける」の資料を参照のこと

3. 短い文を書く

「短い文で解答を書く(一文一義で書く)^{注3)}」で解説したように、一文一義の考え方を使得

短い文で解答を書くことで解答が明確に伝わります。「短い文で解答を書く」の中で解説した例を以下に示します。

Ⅲ：高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいるが、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

Ⅳ．高度成長期に集中して建設された多くの橋梁やトンネルの老朽化が急速に進んでいる。しかし、これらの構造物の多くを管理している地方自治体では、技術、資金、人材不足でこれらの老朽化対策が進んでいない。

Ⅳのように一文一義の考え方をを使って短い文で解答を書くことで解答が明確に伝わります。

ここでは、一文一義の考え方に基づき短い文を書くことを解説しました。短い文を書く方法として「表現を工夫する」や「内容が変わらないように表現を変える」という方法もあります。

注 3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「短い文で解答を書く（一文一義で書く）」の資料を参照のこと

4. まとめ

記述式試験は、所定の時間内で、解答を考えその解答が明確に伝わるようにそれを答案用紙に書く必要があります。このような条件下において記述式試験の合格に必要なキーワードは“短”です。

【参考】

IとⅢは、ⅡとⅣに比べて解答が明確に伝わりません。この理由は、「解答の要点」と「要点の説明」を一文の中で書いているからです。ⅡとⅣのように、「解答の要点」と「要点の説明」を別々の文で書くことで解答が明確に伝わります。これが、「1分で理解できる解答の書き方」に基づき論文（答案）を書くときの条件です。

【参考図書】

森谷仁著、「マンガでわかる技術文書の書き方」、オーム社、令和4年3月25日

以 上